

非血縁者間末梢血幹細胞採取 認定施設  
採取責任医師 各位

公益財団法人日本骨髄バンク  
ドナー安全委員会

## 採取2日目がないにも関わらず G-CSF を過剰投与してしまった事例

平素より骨髄バンク事業にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

下記のとおり採取施設において、末梢血幹細胞採取2日目がないにも関わらず G-CSF が投与されてしまった事例が報告されました。注意喚起の観点から、本事例を情報共有いたします。

### 記

#### <概要>

- Day 0 PBSCH 実施 目標量を採取したため1日で終了。  
Day+1 6時 G-CSF(ノイトロジン)投与、10時 退院 WBC:39,640/μL  
退院後、G-CSF が過剰投与されていることを覚知。採取医よりドナーへ電話して謝罪。  
有害事象の有無を確認する為、Day+2 に採血・診察を実施予定。  
Day+2 採取施設を受診 WBC:48,300/μL  
新たな自覚症状なく、入院時より持続している関節痛のみで肝脾腫なし。血液検査結果  
では WBC 増多、ALP,LHD 増多が中心。有症状時に連絡するよう説明。  
Day+37 術後健診 特に問題なし。

#### <以下、採取施設からの報告書より抜粋>

##### 【アクシデントが発生した要因】

2日目の幹細胞採取の可能性を見越して、前以って G-CSF のオーダーを行い、1日目のみで採取完了時に G-CSF のオーダー削除が行えなかったことが要因となる。また、COVID-19 やインフルエンザなどの感染症によって病棟が切迫しており、当該病棟で実施できなかったことも要因の一つと考えている。

##### 【今後の対策】

当院医療安全対策部安全管理センターへ事案発覚時にアクシデントとして報告を行った。同センターと当科医局で協議を行い、骨髄バンクドナーを含めた自家造血幹細胞採取を2日以上行う症例は G-CSF の事前オーダーは不可とし、必ず1日目の採取量を確認してから、翌日の G-CSF をオーダーすることとした。また、今回当該病棟で実施できなかったことも要因の一つであることから、基本的には当該病棟での対応を行い、満床などの理由で採取実績が少ない病棟での入院となる際は主治医より当該病棟への看護師などのスタッフへ概要を説明することを必須とした。

以上

【お問い合わせ先 : (公財) 日本骨髄バンク ドナーコーディネート部 TEL 03-5280-2200】